

250216 ^{きょう あい}敬愛忌 釋尼敬愛

俗名 谷本ケイ子法姉 令和6年10月16日 満76歳にて西歸
子育ての術も知らざる親の子と生まれて親を育てる子かな 暁宇

請^{しょう}せざる法をもつてもろもろの黎庶^{れいしよ} (人びと・庶民) に施すこと、純孝^{じゆんきやう}の
子の父母を^{ぶも}愛敬^{あいきやう}するがごとし。もろもろの衆生において、視^みわすこ
と自己のごとし。 聖典6頁『仏説無量寿経卷上』

14:00 勤行

意識 仏説阿弥陀経 拝読

仏説阿弥陀経

3頁 正信偈

97頁 念 仏

102頁 和 讚 十方微塵世界ノ 次第六首 ※青本144頁

101頁 回 向

白骨の御文

〈 休 憩 〉

14:50 感話

発起人 石井輝子
参詣者

〈 随時休憩 〉

追弔法話 「不請^{ふしょうしう}之友」

百々海真

16:30 恩徳讚齊唱

世間の人民、父子・兄弟・夫婦・室家・中外の親属、当に相^{まさ}敬愛^{あいきやうあい}して相憎嫉すること
なかるべし。有無相通じて貪惜を得ることなかれ。言色常に和して相違戻することなか
れ。 聖典59頁『仏説無量寿経卷下』

〈訳〉世間の人々は、親子・兄弟・夫婦などの家族や親類縁者など、互いに敬い親しみあつ
て、憎みねたんではならない。また持ち物は互いに融通しあつて、貪り惜しんではならない。
そして言葉や表情はいつも柔和であつて、逆らい背きあつてはならない。